

事業名	令和元年度国際発信力ならびにSDGs強化推進事業	
活動形態	開催場所	羽咋市、中能登町、志賀町、輪島市、穴水町、珠洲市、能登町、七尾市、宝達志水町
	活動人数	57名
	期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
活動概要	<p>能登の国際的な評価（世界農業遺産、ユネスコ無形文化遺産）をテーマとした留学生と日本人学生によるスタディ・ツアーの実施を通じ、能登の魅力を国際的に発信するとともに、能登の文化の国際的な理解促進に取り組んだ。</p> <p><ロシア留学生と日本人学生による地方創生SDGsアイデアソン> 日 程：令和元年8月21日（水）～23日（金） 参加者：ロシアからの留学生21名（カザン連邦大学、国立イルクーツク大学、国立アルタイ大学、モスクワ国立大学、サンクトペテルブルク国立大学、極東連邦大学）、日本人学生8名 概 要：ロシアからの留学生と日本人学生の混成6チームは、アイデアソンを行うとともに能登を発信する動画撮影を行い、プログラム最終日にはアイデアを英語で発表した。</p> <p><能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー> 日 程：令和元年9月13日（金）～15日（日） 参加者：留学生6名（インドネシア、ベトナム、中国、ケニア）、日本人学生10名 概 要：FAO世界農業遺産の「能登の里山里海」をテーマに、雨の宮古墳群、総持寺と輪島塗、珠洲焼や茶炭、塩田の生産現場、カキ殻を活用したブドウ畑とワイナリー、キリコ祭り、日本海イカ釣り漁の拠点・小木漁港等を見学し、能登の文化や里山里海の生物多様性について学んだ。 留学生は出身国の伝統的な文化や産業、風習等と比較しながら能登を見て学ぶとともに、動画を作成して能登での体験を発信した。</p> <p><ユネスコ無形文化遺産『能登あえのこと』見る、学ぶスタディ・ツアー> 日 程：令和元年12月4日（水）～5日（木） 参加者：留学生、ALT、日本人学生12名 概 要：ユネスコの無形文化遺産に登録されている農耕儀礼「あえのこと」について、ワークショップ（金沢大学能登学舎）とあえのこと料理の食体験、儀礼の見学（輪島市・能登町）を通じて学んだ。留学生は動画を作成して「あえのこと」を発信した。</p>	